

価格以外の項目に関する評価

資料2

評価分類	評価項目	評価基準	配点	備考	様式番号	
財務体質等	自己資本比率の状況	経営の安定度を評価		※計算に使用した証拠書類も提出 ※自己資本÷総資本×100	様式3	
		◆20%以上	3点			
		◆10%超から20%未満	2点			
		◆0%超から10%未満	1点			
	流動比率の状況	◆0%	0点	※計算に使用した証拠書類も提出 ※流動試算÷流動負債×100	様式4	
		◆150%以上	2点			
		◆100%以上150%未満	1点			
	経常利益の状況	◆100%未満	0点	※当期経常利益と前期経常利益を比較し、経常利益が増加しているかで判断 ※3ヶ年の状況で評価 ※当期経常利益が赤字の場合は、向上としない ※経常利益の証拠書類も提出	様式5	
		総合的な成長を評価				
		◆3ヶ年とも前期より向上	3点			
		◆3ヶ年のうち2ヶ年が前期より向上	2点			
	過去3ヶ年の決算状況 (赤字の有無)	◆3ヶ年のうち1ヶ年が前期より向上	1点	※計算に使用した証拠書類も提出 ※過去3ヶ年の損益計算書の経常利益で評価	様式6	
		◆3ヶ年とも前期より向上せず	0点			
		収益力を評価				
		◆赤字なし	3点			
	キャッシュフローの状況	◆3ヶ年のうち2ヶ年が赤字	2点	※計算に使用した証拠書類も提出 ※過去3ヶ年の損益計算書の経常利益で評価	様式7	
◆3ヶ年のうち1ヶ年が赤字		1点				
◆3ヶ年のうち3ヶ年が赤字		0点				
営業キャッシュフローで評価						
地域精通度	◆営業キャッシュフローが0円超	2点	※計算に使用した証拠書類も提出 ※キャッシュフロー計算書が未作成の場合は、財務諸表(貸借対照表、損益計算書等)に基づく算出による評価を可とする。	様式8		
	◆営業キャッシュフローが0円以下、 または、上場企業でキャッシュフロー計算書を未作成	0点				
	企業の実績・能力				※「同種業務」とは、3層又は高さ10m以上の吹抜空間、かつ、外部に面してガラスを多用した建築物の設計業務をいう。 ※「類似業務」とは、3層又は高さ10m以上の吹抜空間を有した建築物、かつ、1/2以上の規模の設計業務をいう。 ※「同規模」とは、実施設計業務の受託実績4千万円以上をいう。	様式10
	企業の同種・類似業務の実績	本店、支店、営業所等の所在地を評価				
◆市内に本店あり		3点				
◆市内に支店、営業所等あり		2点				
◆近畿圏内に本店、支店、営業所等あり		1点				
市への社会貢献度	◆近畿圏内に本店、支店、営業所等なし	0点	※災害時応援協定等を市と締結している事業者を評価。事業者の所属している団体が、市との協定等を締結しているときも評価の対象とする	様式9		
	市との災害時応援協定等の締結による地域貢献の実績					
	◆協定締結あり	2点				
	◆協定締結なし	0点				
配置予定従事者の実績・能力	配置予定従事者の保有する資格	災害時の応援等に係る市との災害時応援協定の締結の有無を評価		※「有効な国家資格等」の内容とは、下記の資格をいう。 ※責任者：建築士法第2条に規定する一級建築士の資格 ※意匠担当者：建築士法第2条に規定する一級建築士の資格 ※構造担当者：建築士法第2条及び第10条の2の2に規定する構造設計一級建築士の資格	様式11	
		◆資格あり	20点			
		◆資格なし	0点			
		企業の実績・能力				
	配置予定従事者の業務実績	企業の実績・類似業務の実績を評価				
		◆同種かつ同規模以上の業務受託実績あり	25点			
		◆同種かつ1/2以上の規模の業務受託実績あり	15点			
		◆類似業務の業務受託実績あり	10点			
		◆上記いずれも実績なし	0点			
配置予定従事者の業務内容に関する専門知識等	同種・類似業務の実績の有無を評価		※責任者として同種業務に従事した実績を評価 ※「同種業務」とは、3層又は高さ10m以上の吹抜空間かつ外部に面してガラスを多用した建築物の設計業務をいう。 ※「類似業務」とは、3層又は高さ10m以上の吹抜空間を有した建築物の設計業務をいう。	様式11		
	◆責任者として同種業務に従事した実績あり	15点				
	◆同種業務に従事していた実績あり	10点				
配置予定従事者の業務内容に関する専門知識等	◆類似業務に従事していた実績あり	5点	※「専門知識等」の内容とは、下記をいう。 民間資格：インテリアコーディネーター、インテリアプランナー、空調調和・衛生工学会設備士等 業務経験：積算業務について5年以上の業務経験等	様式11		
	◆同種・類似業務に従事した実績なし	0点				
	同種・類似業務内容に関する専門知識等の有無を評価					
研修体制	◆専門知識等あり	20点	※「専門知識等」の内容とは、下記をいう。 民間資格：インテリアコーディネーター、インテリアプランナー、空調調和・衛生工学会設備士等 業務経験：積算業務について5年以上の業務経験等	様式12		
	◆専門知識等なし	0点				
研修の実施	技術力向上のための研修の実施状況を評価		※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない ※報告書、受講修了証、レジュメ等で確認する	様式12		
	適切な履行確保のための研修計画					
適正な履行確保のための研修計画	契約期間中の適正な業務履行確保のための研修計画の有無及び内容を評価		※研修対象は現場の作業従事者とする ※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない	様式13		
	仕様書に基づく作業計画書の作成及び業務内容を評価					
履行体制	適正な履行確保のための業務体制		※作業計画書と仕様書との適合性を評価する	様式13		
	品質ISO認証の取得状況	品質ISO認証(9001)の取得あり	2点	※入札告示日現在の取得状況とする	様式14	
品質ISO認証(9001)の取得なし	0点					
品質保証への取組	苦情処理体制	苦情処理体制の整備状況を評価	1点	※苦情処理要領(マニュアル等)の有無、内容(役割分担、報告・指示及び結果報告システム、伝達方法の明記必須)	様式14	
	実施方針等	実施方針、フロー及び工程表	業務の実施方法や実施体制、工程表等を評価	15点	※【業務理解度】目的、条件、内容の理解度が高く、優れている ※【実施手順】課題分析及び解決の実施フローの妥当性高く、工夫が図られ、優れている ※【コスト・経済性】コスト、経済性の実現性があるか ※【施工性】施工性、工程の実現性があるか ※【その他】品質確保・向上を目的として照査における具体的手法・工夫等が優れている	様式15
特定提案等	本業務における留意点	特定テーマに係る提案内容の的確性、実現性、創造性等を評価 課題作品：基本設計図面を基にしたコンセプト・パース等	70点	※提案書記載の内容により評価 ※魅力的な外観となっているか ※創造性又は新規性があり、技術的に優れているか ※品位と美しさを兼ね備えた質の高いデザインとなっているか	様式16	
			200点			